

COOP

京都の生協

C/O/N/T/E/N/T/S

新協同組合原則を学ぶ	2
京都府生協連第24回総会	4
特集 環境と生協	6
ひとりひとりの暮らしを変える運動として	
災害対策づくりにむかって	8
探訪 京都府消費生活科学センター	12

●1996●July●NO 30

発行 ●京都府生活協同組合連合会

〒604 京都市中京区烏丸夷川角 せいきょう会館2階

TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555



ネットワークNOW

1986年に京都市左京区ではじまった京都生協の「暮らしの助け合いの会」の活動の輪は大きく広がっている。「できる力で、できることを」をモットーに、産前産後や高齢者などにたいする家事援助を行なう活動が共感をよんでいるのである。

活動をはじめて10年、地域ごとの「会」は京都市周辺にも広がり、会員は1163名に達したという。会員相互の交流や学習など着実に活動が積み重ねられている。

(6月5日、ハートピア京都)

協同組合原則を学ぶ

協同組合のアイデンティティに関するICA声明

(一九九五年九月二十三日のICA全体総会で決定)

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、誠実、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

〈第1原則〉自発的で開かれた組合員制

協同組合は、自発的な組織である。協同組合は、性別による、あるいは社会的・人種的・政治的・宗教的な差別を行わない。協同組合は、そのサービスを利用することができ、組合員としての責任を受け入れる意志のある全ての人々に対して開かれている。

〈第2原則〉組合員による民主的管理

協同組合は、その組合員により管理される民主的な組織である。組合員はその政策決定、意志決定に

第23回ICA大会 (ウィーン) で採択された原則 (1966年)	第31回ICA大会 (マンチェスター) で採択された原則 (1995年)
1.公開	1.自発的で開かれた 組合員制
2.民主的管理	2.組合員による 民主的管理
4.剰余金の配分	3.組合員の 経済的参加
3.出資金利子制限	
5.教育促進	5.教育・訓練 および広報
6.協同組合間協同	6.協同組合間協同
	4.自治と自立
	7.コミュニティ への関与

一九九五年九月にイギリスでひらかれた国際協同組合同盟(ICA)百年記念大会は規模においても内容においても画期的なものでした。二十一世紀にむけて世界の協同組合運動が活動の指針とすべき新しい協同組合原則が採択されたのです。

この協同組合原則の改定をめぐる論議は大会準備のなかで最も重視された点で、時代の変化に対応しながら、協同組合らしさを貫き、協同組合の未来を展望するためには何が必要とめられているのかを明らかにするためのものでした。

今回の改定は一九六六年のウィーン大会で決定された六原則をもとに協同組合の「定義」「価値」「原則」を確認するという形で行なわれました。

現在、生協をはじめ各協同組合において新しい協同組合原則について学習・啓発が行なわれています。

積極的に参加する。選出された代表として活動する男女は、組合員に責任を負う。単位協同組合では、組合員は（一人一票という）平等の議決権をもっている。他の段階の協同組合も、民主的方法によって組織される。

〈第3原則〉組合員の経済的参加

組合員は、協同組合の資本に公平に拠出し、それを民主的に管理する。その資本の少なくとも一部は通常協同組合の共同の財産とする。組合員は、組合員として払い込んだ出資金に対して、配当がある場合でも通常制限された率で受け取る。組合員は、剰余金を次の目的の何れか、または全てのために配分する。

- ・準備金を積み立てることにより、協同組合の発展のため
- ・その準備金の少なくとも一部は分割不可能なものとする
- ・協同組合の利用高に応じた組合員への還元のため
- ・組合員の承認により他の活動を支援するため

〈第4原則〉自治と自立

協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である。協同組合は、政府を含む他の組織と取り決めを行なったり、外部から資本を調達する際には、組合員による民主的管理を保証し、協同組合の自主性を保持する条件において行なう。

〈第5原則〉教育、訓練および広報

協同組合は、組合員、選出された代表、マネジャー、職員がその発展に効果的に貢献できるように、教育訓練を実施する。協同組合は、一般の人々、特に若い人々やオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる。

〈第6原則〉協同組合間協同

協同組合は、ローカル、ナショナル、リージョナル、インターナショナルな組織を通じて協同することにより、組合員に最も効果的にサービスを提供し、協同組合運動を強化する。

〈第7原則〉コミュニティへの関与

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じてコミュニティの持続可能な発展のために活動する。



七月三日、96国際協同組合デー京都集会がひらかれ、山本修・神戸大学名誉教授を講師にあたらしい協同組合原則と協同組合運動の課題について学習しました。



京都府生協連第四十三回通常総会は五月二十七日、平安会館において開催され、九十五年度の活動のまとめ、決算報告、九十六年度の活動方針、予算などの議案が承認されたほか、京都府生協連監査規約の設定、任期満了にともなう役員改選などが行なわれました。

今回の総会には京都府、京都市から来賓をお迎えし、京都府の高見静治商工部長のごあいさつ、京都市の飯田哲夫市民生活部長から溝部夫文化市民局長のメッセージの紹介をしていただきました。



京都府生協連役員名簿

会長理事	木原正雄	(非常勤)
副会長理事	末川千穂子	(京都生協理事長)
	吉田智道	(非常勤)
専務理事	原 強	(常勤)
常任理事	小川 正	(京都府庁生協専務理事)
	長 義一	(大学生協京都事業連合専務理事)
	田中 弘	(京都医療生協専務理事)
	山本祐司	(京都生協常務理事)
理 事	栗飯原利弘	(龍谷大学生協専務理事)
	今岡 徹	(京都工芸繊維大学生協専務理事)
	大塚正文	(京都橘女子学園生協専務理事)
	岡潤一郎	(京都大学生協専務理事)
	岡野時夫	(あみの生協理事長)
	川越悦子	(乙訓医療生協理事)
	酒井克彦	(立命館大学生協専務理事)
	吹田知久	(京都府立医科大学・府立大学生協専務理事)
	末廣恭雄	(京都教育大学生協専務理事)
	檀上博明	(乙訓医療生協専務理事)
	東村はるみ	(京都生協常任理事)
	森 川 隆	(やましろ健康医療生協理事長)
	横山治生	(同志社大学消費生協専務理事)
監 事	藤田康夫	(京都府庁生協常務理事)
	水田健治	(大学生協京都事業連合常務理事)

会 員 生 協 の 現 況

生 協 名	所在地・連絡先・体制	組合員数 (人)	供給高 (単位千円)
京都生活協同組合	京都市南区吉祥院石原川原町1-2 理事長 末川千穂子 専務 門脇馨 075-681-1100	408,049	68,570,370
あみの生活協同組合	京都府竹野郡網野町字網野小字妹73-3 理事長 岡野時夫 専務 西村淑子 0772-72-5046	2,273	324,585
京都大学生生活協同組合	京都市左京区吉田本町 京都大学内 理事長 大谷晋一 専務 岡潤一郎 075-753-7640	29,174	7,594,540
同志社大学消費生活協同組合	京都市上京区烏丸今出川上る玄武町601 理事長 田坂明政 専務 横山治生 075-251-4430	23,914	4,093,552
立命館大学生生活協同組合	京都市北区等持院北町56-1 理事長 田村悦一 専務 酒井克彦 075-465-8280	32,836	5,714,923
龍谷大学生生活協同組合	京都市伏見区深草西浦町4-2 理事長 中村尚司 専務 栗飯原利弘 075-642-0213	17,559	2,082,786
京都府立医科大学・ 府立大学生生活協同組合	京都市上京区河原町広小路梶井町465 理事長 高松哲郎 専務 吹田知久 075-251-5952	7,622	1,355,240
京都工芸繊維大学生生活協同組合	京都市左京区松ヶ崎御所海道町 理事長 濱崎實 専務 今岡徹 075-781-5359	4,580	761,229
京都教育大学生生活協同組合	京都市伏見区深草藤森町1 理事長 沢田誠二 専務 末廣恭雄 075-644-8355	2,277	352,718
京都橘女子学園生活協同組合	京都市山科区大宅山田町34 理事長 梅本裕 専務 大塚正文 075-571-2325	2,135	282,538
大学生生活協同組合京都事業連合	京都市左京区高野玉岡町23-3 理事長 木原正雄 専務 長義一 075-711-1115	15会員	23,527,018
京都府庁生活協同組合	京都市上京区下立売新町西入る 京都府庁内 理事長 國府秀雄 専務 小川正 075-441-7657	9,479	2,046,108
京都医療生活協同組合	京都市中京区河原町三条 朝日会館7F 理事長 中野信夫 専務 田中弘 075-251-0130	74,480	1,573,933
乙訓医療生活協同組合	向日市寺戸町殿長37-1 理事長 蔡東隆 専務 檀上博明 075-921-0661	3,232	290,890
やましろ健康医療生活協同組合	宇治市大久保町山ノ内19-1 理事長 森川隆 専務 行松龍美 0774-46-5151	2,888	143,396
全京都勤労者共済生活協同組合	京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都7F 理事長 井上正夫 専務 松本邦男 075-801-8107	190,920	※※※※
京都労働者住宅生活協同組合	京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都7F 理事長 岩本致二 専務 松本忠男 075-801-5127	3,838	※※※※
八条生活協同組合	京都市南区八条大宮西入る八条町434 理事長 岩崎稔 075-691-7238	※※※	※※※※



ひとりひとりの暮らしを考える運動として

●京都生活協同組合

環境問題と生協

レジ袋有料化へ

買い物袋持参運動をよびかけ

「七月一日からレジ袋は有料になったんですよ」「手作りの買い物袋をもちあるきませんか」。

いま、京都生協の店舗では、組合員から組合員へ買い物袋持参運動がよびかけられています。

京都生協では、これまでも下鴨組合員センターで一九八三年からレジ袋の有料制をとっていました。また、烏丸センターでも一九八六年からスタンプ方式による買い物袋持参運動がとりくまれ、その後、全店にひろがっていました。環境問題に対する世論のたかまりのなかで、だれでもできる環境問題のとりくみを強めるために、今回、すべての店舗でレジ袋を一枚五円とする有料制がはじまったのです。

このとりくみをスムーズにスタートさせるために、それぞれの店舗で準備活動がさまざまにすすめられました。

亀岡の組合員センターでは「The こあら」と名づけた「買い物袋持参運動推進委員会」が発足。自分の買い物袋をもつことが楽しくなるような雰囲気づくりがすすめられました。五月にオープンした「コープさぬがさ」でも、一足早く六月から有料化をスタートさせましたが、積極的な「仲間づくり」活動とあわせて協力よびかけが展開されました。

このとりくみで京都生協のレジ袋は年間使用量の六〇%にあたる約五七〇万枚ほどが節約されるのではないかとみられています。



京都生協のリサイクル活動

品目	回収時のルール	どこで回収してる？	何になっている？(主なもの)
生乳パック	※内側が銀色・茶色のパックは回収できません。 店舗では底をおりまげて回収箱へ 切り開いて、洗って、乾かして ※部では担当にお渡し下さい	全部の店舗 全部の支部 ※ただし、八幡市、田辺町、三和町は、行政などの回収に参加しているため、支部では回収していません。	トイレロール コアノンロール 135 各種
トレー	店舗のトレー回収箱に入れて下さい。 洗って乾かして	全部の店舗	えんぴつ たて ハンガー 工事用プラスチックくい
PETボトル	PETボトルは底におへそがあります。 ラベルとキャップをとり除きます。 洗って乾かして	メイティ、パリティ、はづかし、ふくちやま、むこうしらくさい、東宇治、ながおか、いわくら、さぬがさ 10の店舗	水切りごみ袋 シャンプー容器
アルミ缶	アルミとスチールに分けて投入 洗って乾かして 使い終わったら	パリティ 宇治神明 田辺(アルミのみ) 男山の 4つの店舗	アルミホイール やアルミサッシ 鉄筋の鋼材や 鉄くい
ボタン電池	ボタン電池回収箱の中に入れて下さい	全ての店舗	社団法人 日本乾電池協会にて適正処理



コープきぬがさでは他店に先かけ、六月一日より、レジ袋の有料化がスタートしました。

リサイクル品目もつぎつぎ拡大

リサイクル運動の大切さが強調されるなかで、京都生協でも九〇年に牛乳パックのリサイクル活動がはじまりました。それ以後、リサイクルの対象品目が次第にひろがり、現在、すべての店舗で牛乳パック、プラスチック・トレイ、ボタン電池が回収されています。また、一〇店舗でPETボトル、四店舗でアルミ缶、スチール缶の回収が行われています。その回収量は九五年度実績で牛乳パックで三三九万枚、トレイで九八七万枚、PETボトルで二五・一〇〇〇本に達するといわれています。さらに、最近、卵パックの回収実験もはじまりました。

このようなとりくみをすすめる京都生協の店舗は、京都市の「めぐるくんの店」、亀岡市の「エコモーションストア」、長岡京市の「エコストア」にも登録されています。

環境マネジメント制度も採用

京都生協では、自然観察活動や大気・水の汚染調査活動など組合員活動とあわせて、環境保全の視点から事業活動全般の見直し活動がすすめられています。

現在、宣伝物への再生紙比率の表示、諸会議での印刷用紙使用削減、商品容器の簡素化・削減、環境商品の供給、職員教育の推進などの努力がすすめられています。さらにエネルギー消費量削減などの目標をかげとりくみがすすめられています。

全国の生協のなかには環境マネジメント（環境監査）制度を採用する生協が目立つようになっていますが、京都生協でも今年度から導入されます。

◆京都府環境フェスティバルにも出展

9月22日／パルスプラザ

京都府はこのほど「京都府環境を守り育てる条例」を施行するとともに「京都府廃棄物減量化・リサイクル計画」をまとめたのをうけて、9月22日(日)、パルスプラザで「環境フェスティバル」を開催しますが、京都の生協も「買い物袋持参運動のよびかけ」などの活動発表を予定しています。



地球環境を守るのも私たちの課題です
96アースデーのつどい（4月22日 せいきょう会館）

災害対策づくりにむかって

— 阪神大震災の経験に学んで

一九九五年一月一七日に発生した阪神・淡路大震災は一瞬のうちにあまりにも多くの被害を生じさせました。すでに一年半以上が経過しましたが、被災地では今なお住宅問題をはじめとして課題が残されています。

京都府生協連ではこの大震災を教訓にするために昨年一〇月に「災害対策研究会」を設置。災害時における京都の生協のはたすべき役割について調査・研究をすすめ、ことしの四月に「答申」をま

とめました。

「答申」では、京都府の地域防災計画をもとに、京都における災害発生予測・被害状況を想定し、京都府生協連としての対策マニュアルづくりの必要性を強調しています。

京都府生協連理事会では、この「答申」をうけて「災害対策マニュアル」づくりをいそぐとともに、この「マニュアル」の管理・執行にあたる「災害対策委員会」を設置することにしました。

災害時の生協への期待と取り組みの視点

（「答申」から）

① 災害時の生協活動に期待される役割

行政との関係については、今後、京都府および京都市など市町村の地域防災計画の見直し作業が完了しないと明らかにならない部分も残されているが、大きくは三つの分野において役割の分担を望まれていると言える。

① 応急生活物資の安定的調達・供給

この間、いくつかの生協で行政との「協定」締結の経験が生まれてきているが、阪神・淡路大震災時に見られた生協間の全国的なネットワークによる広域支援体制が大きく評価されており、「協定」締結のポイントとなっている。

② 早期の営業・活動再開による地域住民生活の安定支援

コープこうべの店舗の営業再開までの早さ、適正価格での販売などが、被災住民のパニック化を防ぐとともに、物価安定など被災後の住民生活の安定につながった。

また、組合員に限定せず、広く地域住民の暮らしの応急的ニーズ（商品・生活情報など）に応えたことは大きく評価され、京都においても

被災時には、生協に対して同様な役割が求められるであろう。

③ 地域におけるボランティア活動への参加・支援

阪神・淡路大震災時には多くの生協ボランティアが様々な分野で活躍した。例えば、独居老人・障害者などの情報収集、公的避難地以外の人・避難者への物資供給、情報提供、医療活動などが行われた。

これらの教訓としては、学生ボランティアをはじめとして、専門知識を持ったボランティアや、地域に根ざしたボランティアの育成が必要であり、その一端を生協が担うことが求められるであろう。

② 災害対策に対する取り組みの視点

① 被災者の視点に立った取り組み

阪神・淡路大震災時には、被災者からの要望は多岐にわたり、そのひとつひとつが切実なものであった。コープこうべでは、現場の職員が徹底して被災者の必要としているものを聞き取り、要望を汲み上げ、自らもあらゆる手だてを駆使し、本部・後方の職員組織も通常の枠を越

えてそれに応えた。

京都における「災害対策」の策定の上でも、このような被災者の視点に立った対応ができるようなシステムと人づくりを行うことが必要である。

② ネットワークづくりの重要性

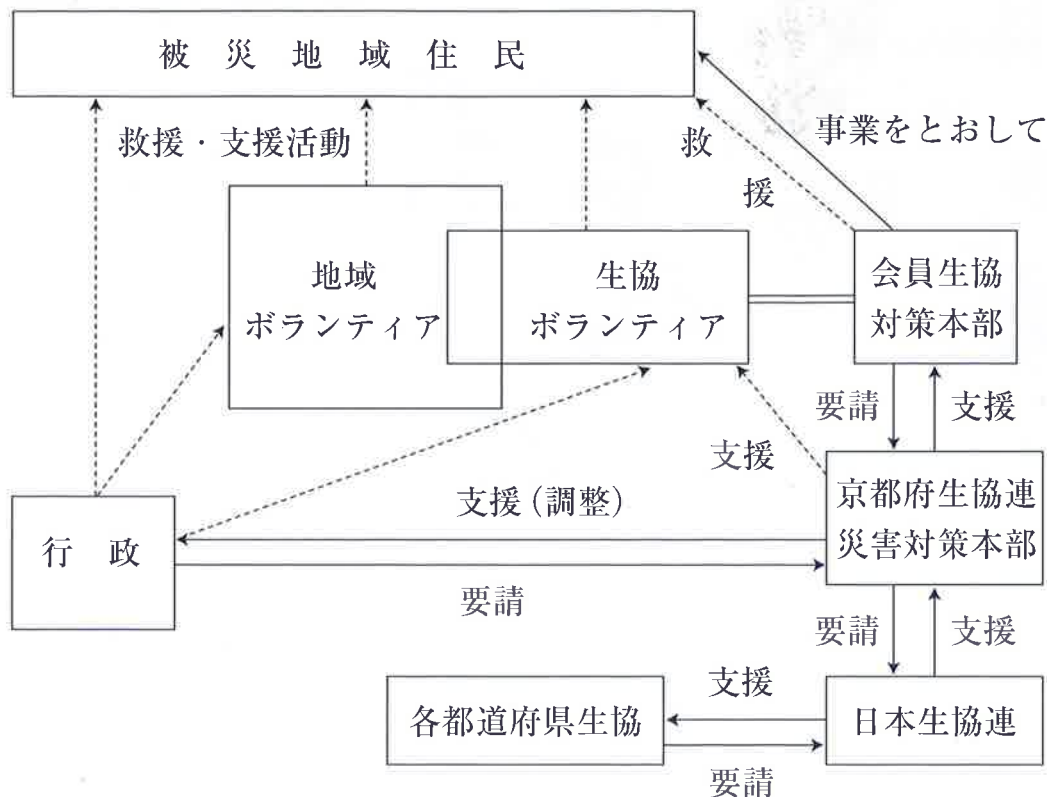
生活地域の中での顔の見える範囲でのコミュニケーションに始まり、地域内での各種市民団体や行政などの相互協力の体制が、日常活動の中から培われていくことが重要である。これらのネットワークを生協活動の中にどう位置づけていくのか検討の必要があると考える。

③ 事前予防対策の重視

「災害対策」を考える場合、何よりも災害を発生させないことや最小限に抑えるための「防災」の取り組みが必要である。日常的に防災知識を身につけ、訓練を行うことではじめて災害発生時に適切な行動が行える。

生協における取り組みを想定した場合、各生協の事業所単位の「防災体制」および職員への「防災教育」は組合員の生命の安全を確保する点からも重要である。また、組合員に向けても災害に対する啓発活動も必要と考える。

緊急時の組織体制の考え方



〈市町村などと生協との協定〉

	締結生協	締結自治体	協定締結日
1	コープこうべ	神戸市	95.9.11
2	〃	尼崎市	93.8.2
3	〃	加古川市	95.11.30
4	〃	高砂市	96.2.28
5	〃	明石市	96.3.19
6	コープかながわ・ユーコープ事業連合	横浜市	95.4.21
7	生活クラブ生協・川崎市職員 生協・コミュニティー生協 昭和電工生協・コープかながわ	川崎市	95.10.27
8	コープかながわ	平塚市	95.11.1
9	浦賀生協・コープかながわ ユーコープ事業連合	横須賀市	95.12.
10	コープかながわ日限山店 日限山地域委員会	ひざり連合自治会	95.10.14
11	コープさっぽろ	札幌市	95.12.
12	釧路市民生協	釧路市	95.11.28
13	ちばコープ	千葉市	95.12.22
14		船橋市	96.3.26
15	岐阜地区市民	大垣市	96.2.29
16	コープのだ	千葉県関宿町	96.4.26
17	コープぐんま	桐生市	95.12.6
18	みやぎ生協	仙台市	96.3.29
19	コープしずおか	袋井市	96.
20	コープやまぐち	山口市	96.5.27

災害時協定締結状況

96.5.27 現在 京都府生協連調べ

〈県と生協との協定〉

	締結生協	締結自治体	協定締結日
1	神奈川県生協連	神奈川	95.4.18
2	福井県生協連	福井県	95.10.16
3	群馬県生協連	群馬県	95.11.30
4	埼玉県生協連	埼玉県	95.12.27
5	コープさいたま	埼玉県	96.3.29
6	東京都生協連	東京都	96.1.22
7	岐阜県生協連	岐阜県	96.2.29
8	滋賀県生協連	滋賀県	96.3.29
9	コープしずおか	静岡県	96.3.27

現在、生協と行政との間で、災害時における緊急生活物資の調達・供給に関する協定を締結するうごきがすすんでいます。その背景には、阪神大震災時にコープこうべと神戸市などの協定が有効に機能したことや生協間の全国的な支援があったこと、また、生協が地域社会のなかで組織をひろげ各所に事業所をもち物資調達ルート・物流手段を独自に確保していることなどが評価されているようです。

すすむ行政との協定締結のうごき

アジアの 協同組合と女性

講演会

山内明子さんがレポート



六月二十九日、講演会「アジアの協同組合と女性」がコープ・イン、京都で開催されました。これは一九九四年三月から国際協同組合同盟（ICA）アジア・太平洋地域事務所ジェンダー活動（男女格差の是正をめざす活動）担当としてインド・ニューデリーに赴任されている山内明子さんを講師に迎え、京都府生活協同組合連合会、くらしと協同の研究所常設研究会「女性と協同組合」が共催したものです。

講演では、ICAの概要とアジア・太平洋地域事務所の活動内容、ICAと日本の生協運動のかかわり、アジア各国の暮らしと協同組合運動の実態が報告され、さらにジェンダー（社会的性差別）意識チェックやスライド上映も交えて、アジアの女性がおかれている状況が報告されました。協同組合においても、女性は意思決定の過程やサービスの享受、貢献度評価の面で特に低い立場におかれている場合が多いという問題点が指摘された一方で、職業訓練や仕事おこしを積極的にすすめている女性協同組合、スラムからの移住者が事業資金を相互援助している信用協同組合などの活動事例から、協同組合が女性の能力開発と生活向上に大きな役割を果たしていることも明らかにされました。講演に続いて、日本生協連理事の湯浅夏子さんからICA女性委員会の活動報告があり、男女共同参画問題と協同組合間国際交流への理解が深められました。

インドネシアからの 研修団が京都を訪問

七月七日、インドネシア青年協同組合連合会（KOPINDO）の研修団一〇名が来日、十三日まで京都で研修が行われました。研修団は共同仕入れや連帯活動の前進のための研修として、インドネシアの各学生生協の代表で構成されています。

一行は京都の大学生協を訪問し、施設や事業の仕組みについて研修を受けたほか、京都生協の店舗・共同購入施設などを見学、京都生協組合員とも懇談を行いました。



太 平 洋 を わ た る 協 同

大学生協京都事業連合

専務理事 長 義一

このほど、デービス・キャンパス・コープと大学生協京都事業連合出資のコープ総合リビングK・Kとの友好協定の調印が行われたことによって、太平洋を越えた生協ならではの共同事業がスタートします。

カリフォルニア州立大学デービス校には学生のハウジング・コープがある。デービス・キャンパス・コープ（DCC）という。設立8年で、現在日本人留学生を含む56名が4棟に分かれて暮らしている。

1ヶ月の費用は2食付きで300～350ドル。他に将来の建設基金17ドルがある。

この安さの秘密は ワーク・シェアリング にある。棟ごとに選ばれた理事の下でハウス・ミーティングを開き、食材買い出し、調理、そうじなど、必要な仕事を公平に分担する。一人が週に5時間、みんなのための仕事を受け持つわけである。まさにコープならではの協同の精神の発揮である。大学の寮もあるが、人気抜群のDCCはウェイティング・メンバーが大勢いるという。

デービット・トンプソン氏はアメリカにおける

協同組合の顔であり、DCC創立者の一人でもある。

数年来、京都事業連合（KBA）は、彼から協同出資によるDCC増設と共同利用の提案を受けていた。

京都において総合リビング事業を始めてみると、住人である両国の学生が生活のあり方を交流したり、事業としてのマネジメントや運営管理面などお互いに学び合うことの大切さを痛感させられた。

また、オリジナル旅行やデービス校と結んだ語学研修旅行の絶好の宿泊施設としても活用できるなど、提案は、お互いにメリットのあるものであった。

こうした検討の結果、今回の提案は協同組合同志の国際的なジョイント・ベンチャーになるという確信を得るに至ったのである。

そして、コープ総合リビングK・K（CTL）が40万ドル、DCCが80万ドルの計120万ドルで97年秋に48人収容の新しい建物を建設するという合意に達した。

96年4月8日は、その友好協定調印の日である。その日インターナショナルハウスは、市長、議会、商工会議所、大学、宗教関係者など、コミュニティーの主だった人々の笑顔でいっぱいだった。大きな拍手に包まれて、私は、DCC学生理事長とともに歴史的な協定書に署名した。



協定書を交わす、
トンプソン氏と長専務。



「ウエル衣笠」がオープン

京都生協の介護ショップ「ウエル衣笠」の活動がはじまりました。

「ウエル衣笠」は、九十四年一〇月にはじまった「ウエル岩倉」の活動をふまえ、今回、コープきぬがさ（京都市北区）の隣接地でオープンしたものです。

「ウエル衣笠」は、高齢者、障害をもつ人の願いに具体的にこたえていくことをめざしています。介護用品の展示販売はいうまでもありませんが、相談活動、専門家とのネットワークづくり、「くらしの助けあいの会」やボランティアなど組合員の活動との連携などを重視して活動をすすめていくことにしています。

探

訪

京都府消費生活科学センター



消費生活や訪問販売などで、困ったり、被害にあったとき、あなたはどうしますか。そんな時、力を貸してくれるのが「京都府消費生活科学センター」です。

◎消費生活相談

〈専用電話〉

075-821-0210

〈受付時間〉 9:00～12:00

1:00～4:00

くらしに関わる商品・サービスについての苦情や相談を受け付け。

◎消費生活講座

・消費生活に関わる内容で、九講座開講（各四回）。

◎商品テスト

・年間四～五品目について商品テストを実施。ハンカチや形態安定ワイシャツなどをテ

GUIDE

〒600 京都市中京区西の京笠殿町162
事務所TEL 075-802-3261
西大路太子道下ル二筋目東入ル。
市バス「西大路太子道」バス停下車。徒歩5分

〈付近見取図〉



京都府消費生活科学センター



夏休み親子講座

ストし、品質や表示に問題がないか調査。また、消費生活相談で受け付けた苦情商品の中で、繊維・食品関係は、独自にテストを実施。

◎見学
・センター内の見学も随時受け付け。グループや団体の場合は、事前予約が必要。